

マーケットの動き（2026年1月26日～1月30日）

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。

週初は、日米協調での為替介入への警戒感が高まったことから円高・米ドル安が進行し、輸出関連銘柄を中心に売りが広がりました。その後、企業決算の発表が本格化するなかで好決算銘柄には買いが入る場面もみられましたが、上値は重い展開となりました。

投資環境見通し（2026年1月）

国内株式相場はレンジ内で推移

企業業績については、米国関税政策の影響から製造業では小幅の減益となる一方、非製造業は比較的堅調な状況です。

国内株式相場は、企業業績が底堅く推移する一方、日銀の利上げ姿勢や、長期金利の上昇から上値は重く、レンジ内での推移に留まるとみています。

	1月30日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	3,566.32	▲1.75%	4.62%	22.13%	28.20%
日経平均株価	53,322.85	▲0.97%	5.93%	31.16%	34.95%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202601_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

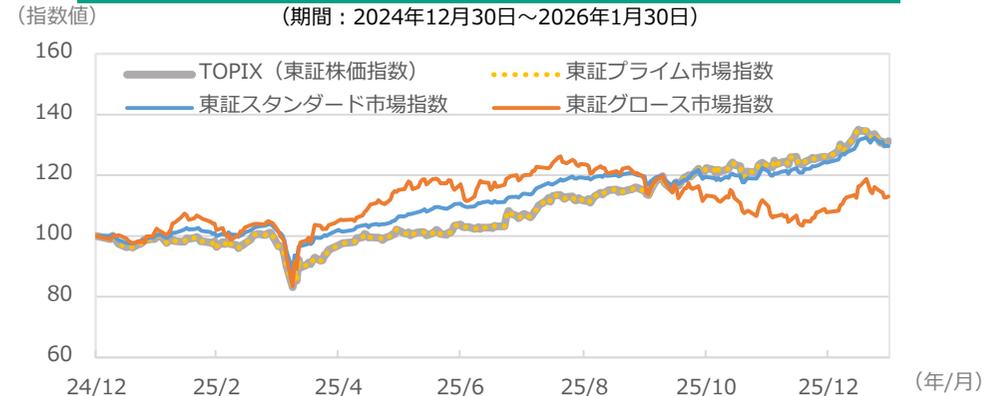
日経平均株価、TOPIXの推移

（期間：2024年12月30日～2026年1月30日）



東証市場別指数の推移

（期間：2024年12月30日～2026年1月30日）



※2024年12月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成